



Rainbow

令和2年10月 須坂支援学校だよりNo. 44

2学期になり、学校生活が変わりました

10月に入り、今年度の折り返しの時期になりました。4月・5月には臨時休業がありましたが、現在の学校生活は通常の教育活動に近づきつつあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症についてはいまだ先が見通せない状況で、私たちは長期間この新たな感染症とともに生活していかなければなりません。

現在、マスクの着用・手洗い・手指消毒の徹底による成果もあり、感染リスクが一定程度低減してきていますが、下がりきらない傾向にあります。学校においては、子どもたちに安全な生活を保障していくために、「3つの密」を避け、「新しい生活様式」の中で感染のリスクを可能な限り低減しつつ、通常の教育活動ができるようにしています。

しかしながら、感染状況によっては、教育活動を変えていく必要があります。そこで、長野県が示している6段階の感染警戒レベルに基づき、本校の教育活動を下表のように整理しました。現在、この指標を基に本校の教育活動を進めています。

新型コロナウイルス感染症の警戒レベルに伴う教育活動について(指標)

| レベル | 直近1週間人口10万人当たりの新規感染者数 | アラート(警戒情報) | 状態 | 登校形態 | 校内教育活動 | 校外活動 |
|-----|-----------------------|-----------------|------------------------------|--|-------------------------|--------------------|
| 6 | | 緊急事態宣言(特措法に基づく) | 国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある状態 | 臨時休校 緊急受け入れ *特支課・市教委の指示による | 遠隔教育等に対応 | 校外活動不可 交流不可 |
| 5 | 5.0人以上 | 非常事態宣言(県独自) | 感染が顕著に拡大している状態 | 臨時休校又は分散登校 緊急受け入れ *特支課・市教委の指示による | 遠隔教育等に対応 分散登校時弁当持参対応 | 校外活動不可 交流不可 |
| 4 | 2.5人以上 | 特別警戒 | 感染が拡大しつつあり、特に警戒が必要な状態 | 最大限に配慮して登校 時差通学等の検討・実施 | リスクの高い活動を避ける | 原則校外活動不可 原則交流不可 |
| 3 | 1.2人以上 | 警戒 | 感染拡大に警戒が必要な状態 | 配慮して登校 | 適切な感染対策を行った上で実施 | 適切な感染対策を行った上で実施 |
| 2 | 0.4人以上 | 注意報 | 感染が確認されており、注意が必要な状態 | 配慮して登校 | 適切な感染対策を行った上で実施 | 適切な感染対策を行った上で実施 |
| 1 | | 平常時 | 感染者の発生が落ち着いている状態 | 通常登校 | 適切な感染対策を行った上で実施 | 適切な感染対策を行った上で実施 |

*リスクの高い活動 → 人と接触がある活動、大きな声を出す活動

*適切な感染対策 → マスク・換気・ソーシャルディスタンス・手洗い・消毒

1 運動会

新型コロナウイルス感染防止に向けて、感染防止対策を十分に検討したうえで、運動会を実施することができました。本校児童の中には、「マスクをつけない」のではなく、「つけられない」お子さんがいます。その旨を須坂小学校の保護者に理解していただけるよう、PTA会長様より「運動会開催にあたってのお願い」の通知を発信していただいたり、支援学校



学校としてもマスク以外の防止対策をしっかりと行ったりしたことで、支援学校の子どもたちについて理解してもらうことができました。今年度は、コロナ禍により須坂小学校の友だちと十分な交流ができなかった中、運動会では自然な形で関わりながら、一緒に様々な種目に参加することができました。



2 校外学習

2学期より、適切な感染対策を行った上で、各部ごと校外学習を行っています。校外学習では、学校を離れ、開放感のあるそれぞれの場で、友だちと関わりながら笑顔で活動する子どもたちの姿が見られました。



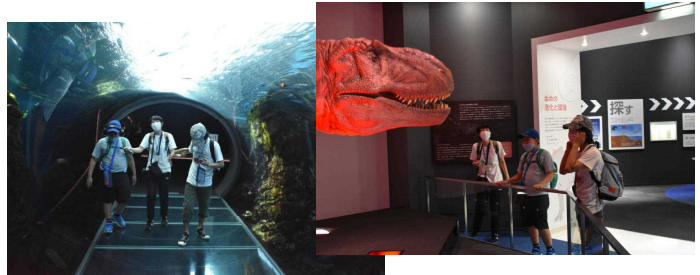
中学部「ハイウェイオアシス」



3 修学旅行

小学部は、例年須坂小学校と一緒に修学旅行に行きますが、今年度は初めて単独で上越方面に行ってきました。

中学部は、今月末に諏訪・白樺湖方面に1泊2日で行く予定です。方面の変更と規模は縮小となりましたが実施できることに感謝です。



4 提携校（須坂小学校・常盤中学校）や居住地校との交流

交流学习も2学期より再開となりました。居住地校とは、連絡を取り合いながらそれぞれの子どもやクラスの実態に配慮して交流計画を作成し、実施しています。

また、提携校の常盤中学校とは、学校祭の一般公開がなくなったため展示見学のみとなり直接交流はできませんでしたが、「三密」が解消できる体育祭は「外で行う体育祭だからこそ交流ができる」と提案していただき、参加することができました。



5 外部ボランティア

「読み聞かせの会」「土笛の会」そして県の事業「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」等、外部講師をお招きしての学習も行いました。久しぶりに外部ボランティアの方々に教育活動に参加していただいたことで、共に活動することの良さを感じました。



6 創立10周年記念事業

11月24日の10周年記念行事は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、規模や参加者を縮小して開催することになりました。参加者は、在校生と本校職員、実行委員と来賓の方のみです。また、記念公演は記念式典の中で実施し、当日来校を予定していた春畑セロリ先生と高井洋子さんは東京からリモートでメッセージをいただき、DVDによる音楽鑑賞となります。須坂支援学校の10年を振り返ったり、音楽を楽しんだりして、須坂支援学校創立10周年をお祝いしたいと思います。